

～人に寄り添い共に成長するJA～

JAフルーツ山梨
山崎 さゆり

JAフルーツ山梨について

- ▶ フルーツ王国山梨の東山梨地区
- ▶ ぶどう・ももなど果樹の生産が主体
県下の果樹生産量の4割以上
- ▶ 一帯は世界農業遺産へ認定
- ▶ 正組合員の減少・高齢化、多様化
⇒ 環境変化に柔軟に対応すべく
新たな取り組みを開始



J A フルーツ山梨の目指す姿

儲かる農業を基軸に
組合員・地域の信頼に応える農協

- ①協同を支える経営基盤の強化
- ②持続可能な農業基盤の強化
- ③豊かで暮らしやすい地域社会づくり

実現するために必要な職員を“継続的に”育成

求められる職員像

- フ** ふるさとを“より良く”するため何ができるか自ら考え変革に向けて挑戦する職員
- ル** ルールを守って誠実に行動し組合員・地域からの信頼を高める職員
- ツ** 常に下位者を育成し他の職員と協力することで組織の総合力の発揮を主導する職員

👉 令和6. 4策定 この目標を具現化し、実現するための具体的な策を考えていく

現状分析

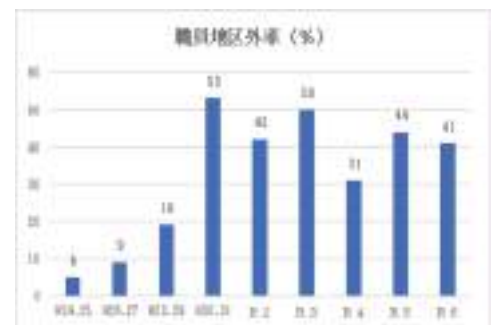
図表 1



図表 2



図表 3



正組合員数は減少
しかし、女性は増加傾向



加入は微増
脱退は減少傾向
⇒減少幅は鈍化

フルーツ山梨の管轄地区
以外からの職員が増加

アンケート結果 （正組合員へのヒアリング）

J Aで利用する部署

- 本所<信用・共済<購買・販売・指導
- 特に指導にはお世話になっている

農作業について

- 肥料まきなど力が必要な作業は大変
- 年齢に比例し疲れが取れにくい
- 高所作業、機械作業が苦手

職員との関係について

- 地元の職員や顔見知りの職員が少なくなった
- 挨拶など普段からのコミュニケーションを大切にしたい
- 職員に求めるものもあるけれど、お互いにやるべきことをやる関係でありたい

アンケート結果 （若手職員へのヒアリング）

組合員との関係について

- J A職員と組合員との関係は他社にない近さが売り
- 限られた接点の中で、どうやって関係を築いたらよいかわからない
- 人事異動があるので、近い関係を築けても異動先でまた1から関係を築かないとならない
- 本所に組合員が来る機会がほとんどなく、来ても挨拶くらいで接客をすることがない

	プラス要因	マイナス要因
内部環境	<p>【Strength（強み）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経験豊富な農家が多い ・ 品質の良い果物が生産出来る ・ 歴史ある地域で、地元意識は強い ・ 経済の職員と組合員の関係は親密 	<p>【Weakness（弱み）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 正組合員の高齢化、減少 ・ 金融部門・本所職員と組合員の関係が希薄 ・ 支所集約により物理的・精神的な距離も出来ている
外部環境	<p>【Opportunity（機会）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 女性・新規就農者の増加 ・ 子会社で新規就農者や地域おこし協力隊を受け入れ農作業をしている ・ 世界農業遺産に認定されている 	<p>【Threat（脅威）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 既にサポート事業を展開している企業がある ・ 少子高齢化 ・ 若年層のJA離れ ・ 次世代の担い手不足

❗問題点❗

- (1) 金融部門および本所の職員と組合員との関係性が**希薄**になっている
- (2) 正組合員の高齢化や新規就農者など環境変化に対する**サポートが十分ではない**

取り組み内容

① 正組合員の営農に**マネージメントシステム**を導入❗

👉 組合員一人ひとりに寄り添い、共に品質・量の向上を目指す

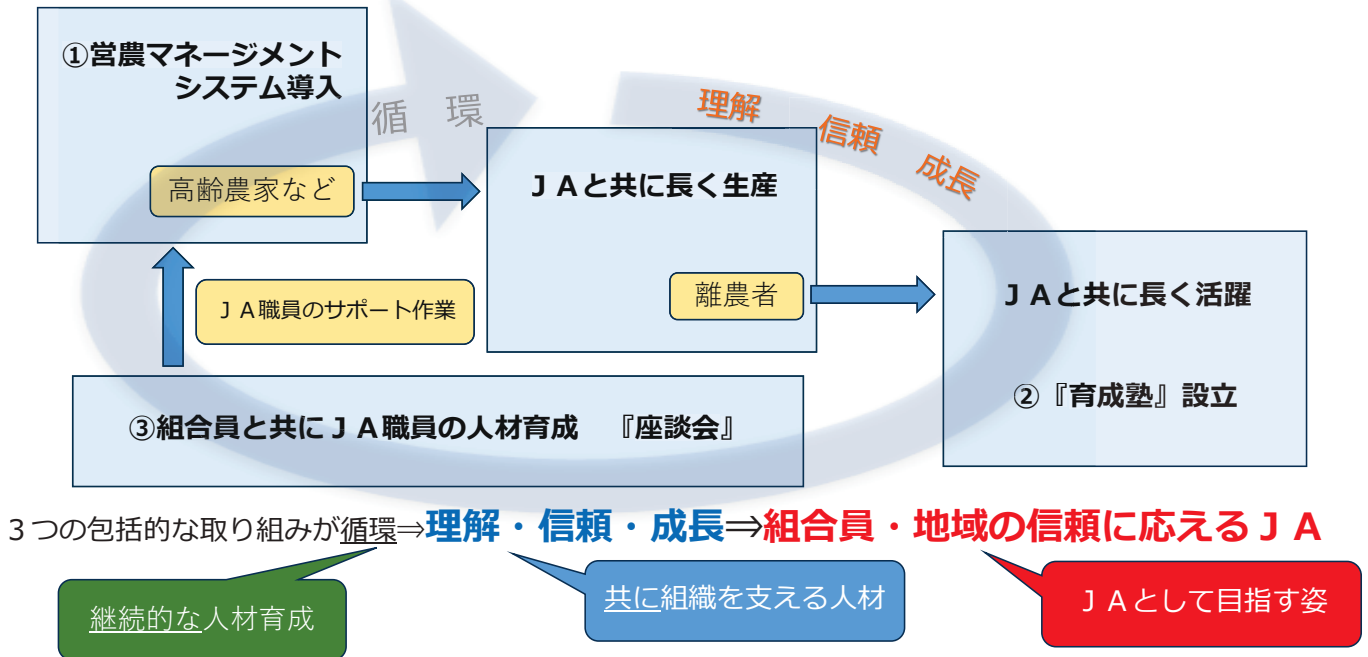
② 女性や新規就農者に特化した**『育成塾』**を設立❗

👉 ベテラン農家の知恵・経験を新たな担い手へ直接継承

③ 新たなJA職員の人材育成、**教育制度**を導入❗

👉 職員の農業・農家の理解のため、離農した農家と**『座談会』**

全体イメージ



期待される効果

- 👉 継続的な営農サポートによる品質・量の向上で『フルーツ山梨ブランド』の付加価値向上
 - 👉 協同の精神、JA組織の一員である意識、JAとの一体感
 - 👉 地域内の農業の発展⇒豊かな地域社会づくり
- ➡ **儲かる農業**の実現
- 👉 職員自身の組合員へ寄り添う気持ち
 - 👉 組合員との接点増加・コミュニケーション能力向上
 - 👉 自ら創造し積極的に動く力
 - 👉 部署を超えた関係の構築
- ➡ **挑戦・信頼・総合力**を発揮する職員
- ➡ **JAフルーツ山梨の目指す**
組合員・地域の信頼に応える農協の実現

おわりに

正組合員の地域への愛着・農業への誇りを知り、その組合員に接することの出来るJ Aの仕事の貴重さや面白さを実感⇒立場や年齢は違っても、成長しようとする気持ちでお互いが高め合う関係を！

自分のことだけ考えるのではなく、『一隅を照らす』精神で組合員・職員が共に歩んでいけるJ Aを目指したい。

ご清聴
ありがとうございました

J Aフルーツ山梨オリジナルキャラクター

